

令和 8 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

変化の激しい多様な社会で「真善美」を身に表し、高い教養と豊かな感性を備えた次代のリーダー、未来を切り拓く、たくましく行動力のある人物を育成する学校
1. 主体的に学ぶ姿勢の育成～確かな学力と探究心をもとに他者と協働して考え自分の言葉で説明することのできる力を育成する。
2. 豊かな人間力の育成～夢・志・チャレンジ精神を持って自らの感性を磨き進路を切り拓く実践的な態度を育成する。
3. 学校力のパワーアップ～保護者・地域・同窓会との連携をもとに生徒・教職員とともに生涯学び続ける力を引き出し育成する。

2 中期的目標

生徒が「自考自走」できるよう課題を見つけ様々なことに挑戦し、生徒一人ひとりの個性が輝く教育活動を学校のD X化を図り推進する
1. 主体的に学ぶ姿勢の育成～確かな学力と探究心を基盤に他者と協働して考え自分の言葉で説明できる力を育成する。 (1) 「授業力」を高め大学共通テストに繋がる教科指導による学力向上のさらなる推進 (2) DX ハイスクールとして大学連携や探究学習などを通じて学びに向かう力を高め、個に応じたキャリア教育のさらなる推進 (3) 学習支援クラウドサービスの活用や校内活動による自学自習のさらなる推進 (4) 講習、補習の計画的な実施と指導体制のさらなる充実 (5) 学びにおける ICT 機器・AI 利用のさらなる活用推進 ※大学入学共通テスト 対全国平均得点率令和 10 年度には 15%アップ (R5 11%・R6 13%・R7 7%)、 【学校経営推進事業】「みらいの研究者プロジェクト」推進により、主体的に学ぶ力を育成→授業以外の学力向上の場設定強い肯定率令和 10 年度には 70%以上
2. 豊かな人間力の育成～夢・志・チャレンジ精神を持って自らの感性を磨き進路を切り拓く実践的な態度を育成する。 (1) 人権教育のさらなる充実 (2) 生徒主体のホームルーム活動及び学校行事、部活動のさらなる充実 (3) 国際交流・異文化理解教育のさらなる充実 (4) 文化的・芸術的活動、読書活動のさらなる推進 (5) 地域連携、社会貢献活動のさらなる充実 ※生徒向け学校教育自己診断における「命の大切さ、人権を学ぶ」の肯定率を令和 10 年度も 95%を維持。(R5 94.8%・R6 96.9%・R7 97.8%)
3. 学校力のパワーアップ～保護者・地域・同窓会との連携をもとに生徒・教職員とともに生涯学び続ける力を引き出し育成する。 (1) 教員研修をはじめ教員力向上を推進し、RPDCA サイクルに基づく質の高い教育実践のさらなる充実 (2) 安全・安心で魅力ある学校づくり・教育相談体制のさらなる充実 (3) SNS・動画配信サービスをはじめ学校ブログやホームページ等による情報発信のさらなる充実 (4) 「働き方改革」について検討を行い、年間の時間外在校等時間が 720 時間を超える教育職員ゼロをめざす (5) アクションプランに基づく文理探究科(学際領域)への学科改編、グランドデザインに基づく校舎改築事業等のさらなる推進 ※職員全体の時間外在校等時間を前年度比で 5 %減

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R 7 年度値]	自己評価
1 主体的に学ぶ姿勢の育成	(1)学力向上の推進	(1)公開授業・研究協議を全員で行い授業力の向上を図るとともに、各学年・教科で討議し、共通テストに繋がる指導内容・方法等の改善により生徒の学力向上を図る。	(1)(教職員自己診断)「教育目標を共有し、組織的に取り組む」85%以上維持 [90.7%] (授業アンケート)「授業に集中している」90%以上維持[92.4%] (生徒自己診断)「教え方の工夫・授業がよくわかる」90%以上維持 [91.1%] (保護者自己診断)「授業が楽しいと言っている」70%以上[67.2%]	
	(2)DX・大学連携・探究学習・キャリア教育の充実	(2)将来のより良い生き方を選択できるよう大学連携をはじめ系統的な探究学習・キャリア教育・DX 化を通じて、非認知能力を高める取組を実施する。	(2)AiGROW 導入による探究的な学びの検証を実施 大阪公立大との連携「みらいの研究者プログラム」実施 (生徒自己診断)「進路選択を考える機会」95%以上維持 [96.5%] (生徒自己診断) 授業以外の学力向上の場設定強い肯定率 65%以上 [63%]【学校経営推進事業】 国公立大合格率の向上[17.2%]	
	(3)自学自習の定着	(3)学習支援クラウドサービスや校内イベントによる個に応じた学習支援を定着させる。	(3)(生徒自己診断)「自分で計画を立て、家庭で学習する時間」78%以上[78.8%]	
	(4)補修・講習の充実	(4)計画的な講習や土曜講習など、授業以外の進路サポートの体制を充実させる。	(4)(生徒自己診断)「講習・補習」95%以上維持 [96.1%]	
	(5)ICT 機器・AI 活用の推進	(5)教科等の指導や自学自習において、ICT 機器を積極的に活用するとともに、プレゼンや生徒発表の機会を設定する。	(5)(生徒自己診断)「機器活用」85%以上維持 [90.4%]	

府立寝屋川高等学校

2 豊かな 人間力 の育成	(1)人権教育の充実 (2)HR 活動、学校行事、部活動の充実 (3)国際交流の充実 (4)文化的・芸術的活動、読書活動の充実 (5)地域連携、社会貢献活動の充実	(1) 系統的な人権教育をユニバーサルな視点を取り入れて進め、基本的な生活習慣(挨拶・時間・清掃・感謝・貢献)の形成や協働した活動がキャリア形成に繋がるよう生徒を支援する。 (2)HR 活動や学校行事の活性化を進めるとともに、学級活動・部活動を通じたリーダー育成を進める。 (3)姉妹校交流やオーストラリア語学研修、フィリピン(セブ島)グローバル研修をはじめ、組織的・継続的な国際交流活動を充実させる。 (4) 図書館活動や読書マラソン、2年生;芸術鑑賞・3年生;文楽鑑賞をはじめ文化・芸術に触れる機会を充実させる。 (5) 近隣小学校とのわくわく教室・中高連携や寝屋川市など外部との連携交流を推進するとともに、外部のコンテスト等への参加を働きかける。	(1) (生徒自己診断)「人権教育」95%以上維持[97.8%] 年間遅刻回数 1500 件未満をめざす [1888 件] (生徒自己診断)「自分のスケジュールを管理、学校行事・部活動・学習を両立」75%以上維持[76.7%] (2) (生徒自己診断)「学校行事に積極的に楽しく参加」90%以上維持 [94.8%] (生徒自己診断)「部活動で人として成長」90%以上維持 [93.8%] (3) 姉妹校交流・海外研修をはじめ国際交流活動の実施 参加者の満足度 90%以上維持 [豪州 96.5%] (4) 全員対象の読書コンクール・読書ページに応じた読書マラソン、文化・芸術鑑賞の実施 (5) 小中連携事業、地域行事や学校説明会への参加 探究学習・人権学習及び英語スピーチコンテスト等及び連携事業の実施 (生徒自己診断)「考えをまとめ発表する機会」90%以上維持 [91.2%]	
3 学校力 の パワー アップ	(1)質の高い教育実践の充実 (2)安全安心、教育相談体制の充実 (3)情報発信の充実 (4)「働き方改革」の推進 (5)DX 事業・学科改編・校舎改築事業等の推進	(1)教員の育成とともに学校の魅力化を図るため、教員研修、課題抽出や「総括」、学校教育自己診断、学校運営協議会の意見等により学校運営を活性化させ、質の高い教育実践を蓄積する。 (2)教育相談や防災意識に係る能力向上のため、ケース会議や教員研修を実施する。 (3)学校案内・学校説明会・公式 SNS の活用、保護者向けメールの徹底周知を図る。 (4)各学年・分掌内における業務の精査及び部活動方針の遵守により働き方改革を進める。 (5)生徒の主体性や体験活動を充実させるため最新の知見を学ぶとともに、令和 11 年度以降に文理探究科(学際領域)への改編に向けた準備を進める。 関係機関と調整し、校舎改築実施設計を円滑に進めるとともに継続的に施設改修等を行う。	(1)校内研修を 5 回以上実施[6 回] (教職員自己診断)課題対応 80%以上維持[90.8%] (教職員自己診断)改善志向 80%以上 [72.3%] (教職員自己診断)目標共有 80%以上維持 [90.7%] 学校教育自己診断の職員提出率 100% [87.1%] (保護者自己診断)「学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している」80%以上維持 [87.3%] (2)(教職員自己診断)「教育相談体制」90%以上維持 [92.6%] (生徒自己診断)「教育相談」85%以上維持 [87.7%] SNS を利用しての安否確認の実施 [1 回] (3)ホームページ等における生徒の活動等について更なる充実を図る。 (4)時間外勤務時間を昨年度比 5 %減 [6.6%減～1 月] 時間外在校等時間 720 時間超の教員をゼロにする [7 人] (5)先進校等の調査・研究活動、視察等の実施 (生徒自己診断)「寝屋高生であることを誇りに思う」強い肯定率 50%以上 [39.4%] 改築計画に基づく設計の実施 高等学校 DX 加速化推進事業に係る「データサイエンス入門」集中講座、大阪公立大との連携の実施	